

Cb Defense センサーがサポートしているオペレーティングシステム

Cb Defense センサーがサポートしている全オペレーティング システムの最新のリストについては、<https://community.carbonblack.com/docs/DOC-7991> を参照してください。

Cb Defense 管理コンソールがサポートしているブラウザ

- Windows: Firefox、Chrome、Edge
- macOS: Safari、Firefox、Chrome

ローカル スキャン機能

Cb Defense センサーには、アプリケーションを実行する前に静的ファイル分析を有効にするローカル スキャン機能がオプションに含まれています。この機能には、シグネチャ情報を保存し、シグネチャの更新ができるようにするために 600 MB の追加ディスク ストレージが必要です。

スキャナー定義ホストおよびポート

要件	詳細	備考
Carbon Black 定義サーバー http://updates.cdc.carbonblack.io/update HTTP ポート 80 を使用	この接続は、ローカル スキャナー定義ファイルの更新に使用されます。	ローカルでホストされるサーバーから更新されるように設定できます。 これは、ローカル スキャンがセンサーに対して有効になっている場合のみ必要になります。 Cb Defense サーバーを内部サーバーにミラーリングする場合は、ポート 80 などの HTTP ポートを使用できます。

macOS センサー (すべてのバージョン) および Windows センサー (2.0.1 よりも以前のバージョン) は、ローカル スキャン設定をサポートしていません。

会社の規模が大きい場合は、以下のベスト プラクティスをお勧めします。

- センサーとともに AV シグネチャ パックの新規インストールを行います。
- ネットワークが飽和状態になるのを避けるため、AV シグネチャ パックの初回ダウンロードを数10~100台ごとに順次行います。
- ローカル サーバー上でシグネチャ更新のミラーリングを行います。

ローカルのミラーリングサーバーの構築については、「Cb Defense User Guide」を参照してください。

Copyright © 2016-2018 Carbon Black, Inc. All rights reserved. 本製品は 1 つまたは複数の出願中特許の対象となる場合があります。Carbon Black は、米国およびその他の国における Carbon Black, Inc. の商標です。本文書で使用されている他の商標ならびに製品名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります

センサーのハードウェア要件

センサー デバイスはホストのオペレーティング システムのすべてのハードウェア要件に準拠している必要があります。ハードウェア構成を決定する際は、センサー システムで実行されるすべてのプロセスを考慮してください。

検証環境において、PSCセンサーは、CPUの使用率が1%以下、ディスクI/Oが 1% 以下の増加、バックエンドサーバーへのデータ転送が1日約3.5MBで稼働できますが、実際のPSCセンサーのリソース使用は環境に依存します。

センサーのハードウェア要件

要件	詳細
CPU	センサーには少なくとも 2 GHz の CPU が必要です。 また、マルチコア CPU を推奨します。
メモリ	オペレーティング システムには 1 GB 以上の物理メモリが必要です。 センサーは通常、20 ~ 40 MB の仮想メモリを使用します。 ローカルスキャンが有効になっている場合、センサーは 150 ~ 200 MB の仮想メモリを使用します。
ディスク容量	センサーには、システム ボリュームに 100 MB 以上の空きディスク容量が必要です。 ローカル スキャンが有効になっている場合、システム ボリュームに 600 MB の追加ディスク容量が必要です。